

Pa5X

KORG

PROFESSIONAL ARRANGER

ご購入のお客様へ

J2

このたびはコルグ・プロフェッショナル・アレンジャーPa5Xをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、この「ご購入のお客様へ」と「Pa5X WEBマニュアル」(HTML)をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

詳しい操作方法はこちらをご覧ください。

HTML manual



https://www.korg.com/jp/html_manual/pa5x_user/

目次

演奏を始める前に.....	3
フロント・パネルとリア・パネル.....	4
接続とセットアップ.....	5
AC電源コードの接続と電源のオン、オフ.....	5
その他の接続.....	5
ディスプレイの角度調節.....	6
譜面立て(付属)の組立.....	6
簡単操作.....	6
デモ・ソングを聞く.....	6
キーボード・セットで演奏する.....	7
演奏とコントロール.....	7
仕様.....	7

保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入の日より1年間です。
 2. 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
 - ・消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
 - ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - ・天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
 - ・故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - ・本保証書の提示がない場合。尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3か月以内に限り無償修理いたします。
 3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
 5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
 6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。
- 本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証書

コルグ Pa5X-61/Pa5X-76/Pa5X-88

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日 年 月 日
販売店名

アフターサービス

修理または商品のお取り扱いについての質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口

<https://www.korg.com/jp/support/contact/?t=p>



株式会社コルグ

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2023 KORG INC. www.korg.com Published 10/2023 0510AT Printed in Japan

● サービス・センター: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-10
www.korg.com

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。

	このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。
	このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほごりが付着している場合は、ほごりを拭き取る。感電やショートのおそれがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグお客様相談窓口へ依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。


- ⊘ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管をしない。
- 振動の多い場所で使用や保管をしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管をしない。

- ⊘ 風呂場、シャワー室で使用や保管をしない。
- ⊘ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管をしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- ⊘ 濡れた手で本製品を使用しない。


注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります。

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。
- ⊘ 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- 不安定な場所に置かない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- ディスプレイを破損するおそれがあるので、次のようなことは絶対にしない。
 - シャープ・ペンシルのように先の鋭いもの、硬いものでLCD画面を強く押しついたりこすったりする。
 - ディスプレイの隅を、ペンや爪などで強くこする。本製品が損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

 ディスプレイの角度調整時は、指や手を挟まないようにする。

電池について

 **警告** — 電池を飲み込まないでください。化学的反応による傷害の危険があります。

この製品はコイン型リチウム電池を含んでいます。

コイン型リチウム電池を飲み込むと、2時間足らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至ることがあります。

新しい電池および使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。電池収納部がしっかり閉まらない場合は、製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んでしまった、または電池を飲み込んだ疑いがある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

注意 — 電池を交換するときは、必ず同一または同等の銘柄や種類のものを使用する。違うものと交換した場合は、爆発の危険があります。内蔵時計バックアップ用電池は、ご自身で交換することができます。

- ・長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- ・電池を過度の熱源（日光、火など）にさらさない。

ディスプレイについて

本製品のディスプレイは、非常に高い技術で作られた精密機器であり、品質には十分に注意を払っておりますが、次の内容については、LCD ディスプレイの特性から生じる状態であり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- ・ディスプレイの一部に黒点（点灯しない点）や輝点（常に点灯する点）がある。
- ・表示内容によっては、ディスプレイの明るさにムラが生じる。
- ・表示内容によっては、横縞の陰が見える。
- ・表示内容によっては、ちらつきやモアレを生じる。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。大切なデータは、あらかじめUSBディスクや他のメディア等へセーブしておいてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

- ・著作権者から許諾を得ていない著作物を、個人、家庭内、またはその他のこれに準ずる限られた範囲以外で使用した場合、著作権侵害となり、損害賠償を含む補償を負う場合があります。

そのような著作物を録音したものはもちろん、著作物に手を加えて作られたものにも、著作権者の権利が含まれています。これら成果物の転載、配布などは、著作権侵害となります。

著作権侵害によって発生した損害賠償などは、当社は一切の責任を負いかねます。

- ・本製品に内蔵もしくは同梱されたコンテンツそのものを取り出し、または酷似した形態で記録もしくは録音して、配布やインターネット上で公開することは許されていません。

本製品のコンテンツ（音色プログラム、スタイル・データ、伴奏パターン、MIDIデータ、PCMサンプル・データ、オーディオ・データ、オペレーティング・システムなど）の著作権は株式会社コルグに有するか、または株式会社コルグが第三者から使用許諾を受けている著作物です。

上記コンテンツを使用して、作品を制作または演奏し、それらを録音、配布することについては、当社の許諾を必要としません。

* すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

演奏を始める前に

パッケージの確認

最初に以下の付属品等がすべて揃っているかどうかをお確かめください。万が一、不足品がある場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

- Pa5X
 - 譜面立て
 - 電源コード
 - ご購入のお客様へ（本紙）
 - Pa5X-88のみ: コルグST-SV1キーボード・スタンド用保護フェルト
- ユーザー・ガイド（HTML）は、本機の操作方法などを詳しく説明しています。ユーザー・ガイドはコルグ・ウェブサイト（<https://www.korg.com/jp/support/download/>）でご覧いただけます。

ダウンロード可能なデータ

最新ソフトウェア、MIDIドライバー等をコルグ・ウェブサイト（<https://www.korg.com/jp/support/download/>）からダウンロードできます。

アクセサリ（別売）について

本機のアクセサリ（別売）は以下のとおりです。

- コルグST-SV1キーボード・スタンド。

注意: 本機にはコルグST-SV1キーボード・スタンドがお使いいただけます。他のスタンドを使用すると安定が悪く、けがをする恐れがあります。

- コルグPaASアンブ・システム。3方向のアンブ・システム内蔵スピーカー1組とベース・リフレックス・ボックスを追加します。
- コルグのペダル・スイッチ。

データのバックアップについて

エディットしたオリジナルのデータ（サウンド、キーボード・セット、スタイルなど）がある場合、定期的にバックアップをとることをおすすめします。FILEボタンを押してFileページに移動し、Internalグループを選び、Allフォルダーを開き、ページ・メニュー（右上角部）からSaveコマンドを選択します。データを外部ストレージ・デバイスに保存します。

バックアップ・ファイルを復元する

ユーザー・データのバックアップを復元するには、バックアップ・データをリロードします。外部デバイスの場合は、バックアップ・ストレージ・デバイスを接続します。FILEボタンを押してFileページへ移動し、Drivesグループを選んだ後、外部ストレージ・デバイスを選びます。バックアップをしたフォルダーを選び、ページ・メニュー（右上角部）からLoadコマンドを選びます。内蔵メモリーへデータを読み込みます。個別のエレメントのみを再読み込みすることもできます。

工場出荷時のデータに戻す

工場出荷時のデータに戻す場合、File > Menu > Factory RestoreページのFactory Restoreコマンドを使います。

警告: この操作を行うと、既存のユーザー・データのすべてが上書きされます。

オペレーティング・システムのロード

本機のオペレーティング・システムを常にアップデートしていますので、お手持ちのオペレーティング・システムも最新版にアップデートできます。最新のオペレーティング・システムは、コルグ・ウェブサイト (<https://www.korg.com/jp/support/download/>) からダウンロードできます。オペレーティング・システムと一緒にダウンロードされる指示内容を必ずお読みください。

本機のオペレーティング・システムのバージョンは、Fileページで、ページ・メニューからSystem Infoコマンドを選んで確認することができます。

ヒント:オペレーティング・システムのバージョンは常に最新に保ってください。新機能やバグ修正が含まれています。

警告:コルグ・ウェブサイトからダウンロードするPa5X用のオペレーティング・システム以外はインストールしないでください。他の製品用として用意されているオペレーティング・システムをインストールすると故障、データの破損を招く恐れがあります。オペレーティング・システムの不正なインストールに起因する故障や破損については、コルグは一切の責任を負いません。

フロント・パネルとリア・パネル

譜面立てのガイド

Pa5X-61

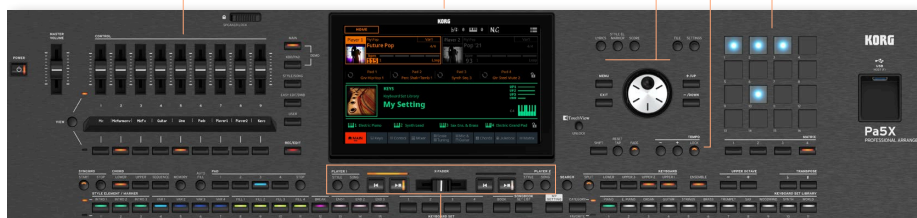
アサインナブル・スイッチ
ジョイスティック
リボン・コントローラー



アサインナブル・スライ
ダーとボタン・エリア

テンポ・エリア

ディスプレイ ナビゲーション・エリア マトリックス



スタイル、パッド、
マーカー・エリア

プレーヤー・エリア

サウンド・エリア

Pa5X-61



AC電源端子

電源コード

AC100Vへ



AUDIO IN端子

AUDIO OUT端子

PEDAL端子

MIDI端子

USB端子

VIDEO端子

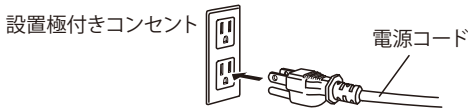
接続とセットアップ

AC電源コードの接続と電源のオン、オフ

1 付属の電源コードを本機背面のAC電源端子に接続します。
注意:電源コードは必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用した場合、故障などの原因となります。

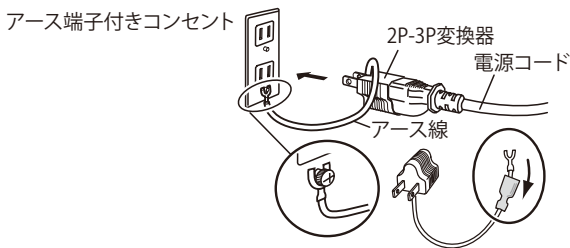
2 電源コードをコンセントに差し込みます。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となります。
注意:電源は必ずAC100Vを使用してください。

接地極付きコンセントに接続する場合



接地極付きコンセントに電源コードのプラグをそのまま差し込んでください。

アース端子付きコンセントに接続する場合



電源コードのプラグに、2P-3P変換器を取り付けます。そして、コンセントのアース端子にアース線を接続し、2P-3P変換器のプラグを差し込みます。

警告:アース接続は、コンセントにプラグを差し込む前に行ってください。また、アース接続を外すときは、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

2P-3P変換器のアース線のU字端子にカバーが付いている場合は、カバーを外して使用してください。

注意:スタンバイ状態は、電源ラインから完全に切り離されていません。この状態で本機の内部を触るのは非常に危険です。本機の電源を完全に切るときは、壁のコンセントからAC電源コードを必ず抜いてください。

電源のオン、オフ

電源をオンにする

> 電源 (⏻) ボタンを押して、本機の電源をオンにします (これによりスタンバイ状態が解除されます)。電源をオンにして数秒後に、ディスプレイに初期画面が表示され、しばらくするとメイン・ページが表示されます。

電源をオフ(スタンバイ)にする

> 電源 (⏻) ボタンを押したままにし、画面表示が少し暗くなったらキーを離します。この時点で電源をオフにする処理が始まり、数秒後に電源がオフになります。電源がオフになるまでは、AC電源コードを本機やコンセントから絶対に外さないでください。

その他の接続

AUDIO IN端子

マイクやギター、その他楽器を接続します。ステレオ・ミニ・ジャックを使用して、メディア・プレーヤーや、スマートフォン、タブレットのオーディオ信号に直接入力できます。

AUDIO OUT端子

本機からのオーディオ信号をミキサーやPAシステム、パワード・モニターや家庭用のステレオに接続します。4つのAUDIO OUT端子(1~4)を備えています。

PEDAL端子

DAMPER端子に、コルグPS-1、PS-3、またはDS-1Hなどのフット・スイッチ (いずれも別売) を接続します。
ASSIGNABLE端子に、コルグPS-1、PS-3、DS-1Hなどのフット・スイッチ (別売) や、コルグXVP-20エクスペッション/ポリウム・ペダルやEXP-2フット・コントローラー (別売) などを接続します。
ASSIGNABLE端子は、初期設定ではマスター・ボリュームやキーボードのエクスペッション・ペダルとして機能します。

MIDI端子

本機を外部コントローラー (マスター・キーボード、MIDIギター、ウインド・コントローラー、MIDIアコーディオン、MIDIペダル・ボードなど) と接続するときや、外部音源モジュール、MIDIインターフェイスを介してコンピューターに接続するとき、この端子を使用します。

USB端子

DEVICE端子は、本機とパソコンやタブレットを接続する際に使用します。HOST1-R、HOST2-R端子は、最大2つのUSBメモリーを接続したり、コントローラーとして使用する別の楽器を接続する際にも使用します。フロント・パネルにもHOST (F) 端子があります。

VIDEO OUT端子

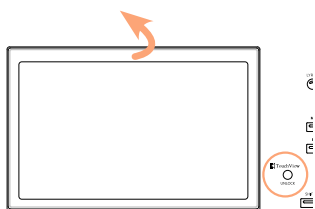
本機にテレビやビデオ・モニターを接続し、歌詞やコード・ネームを表示します。

ディスプレイの角度調節

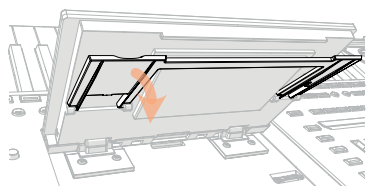
演奏時のポジションに応じて、ディスプレイを見やすい角度に調節できます。

ディスプレイを起こす

- 1 UNLOCKボタンを押してディスプレイの固定を外します。

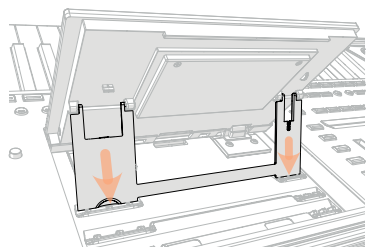


- 2 UNLOCKボタンを押しながらディスプレイを持ち上げます。
- 3 ディスプレイ上部から保護金具を外して開きます。



- 4 UNLOCKボタンを押しながら、見やすい角度に調整し、ディスプレイ枠の下部にあるストッパーに金具を固定します。

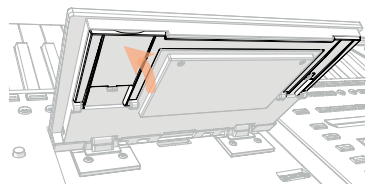
注意:無理に押すと破損する恐れがあります。



- 5 UNLOCKボタンを離して現在の位置にディスプレイを固定します。

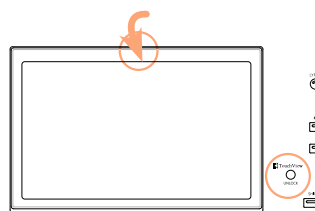
ディスプレイを戻す

- 1 UNLOCKボタンを押しながらディスプレイを持ち上げます。
- 2 保護金具を持ち上げ、閉じた状態に戻します。



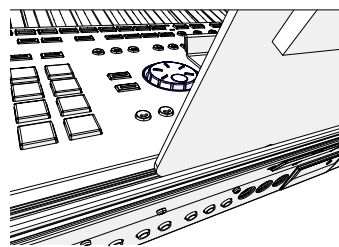
- 3 UNLOCKボタンを押しながら、ディスプレイを下ろして枠に合わせます。

- 4 UNLOCKボタンを離してディスプレイの上部の境目となる中央付近をそっと押して元の位置に固定します。



譜面立て(付属)の組立

- 1 下図のように、本機背面の専用ガイドに譜面立てを差し込んでください。



- 2 基準となる中央部で譜面立てを左右に動かし、好きな位置に調整します。

簡単操作

デモ・ソングを聞く

本機の機能をより理解するために、内蔵のソングを聞いてみましょう。

デモ・モードに入る

- > ディスプレイの左側にあるDEMOボタンを、2つ同時に押しします。デモ・モードに入ります。



デモ・ソングを聞く

- > すべてのデモ・ソングは順番に再生されます。再生中は、ボタンを操作しないでください。

デモ・ソングを選択する

- > 特定のデモ・ソングを聴きたい場合は、ディスプレイで聴きたいデモ・ソングを選択します。

デモ・モードから元のモードへ戻る

▶ DEMOボタンのいずれかを押します。

キーボード・セットで演奏する

キーボード・セットは専用のライブラリーに記憶され、コントロール・パネルまたはディスプレイから選択します。

コントロール・パネルからキーボード・セットを選ぶ

ここではCATEGORY/FAVORITEボタンで、ライブラリー内のキーボード・セットのタイプを選んで演奏してみましょう。

1 サウンド・エリアのCATEGORY/FAVORITEボタンを押して、CATEGORYインジケータのLEDを点灯させます。カテゴリー分けされたライブラリーからキーボード・セットのデータを選べます。



FAVORITE (お気に入り) に保存されたキーボード・セットを選ぶときは、CATEGORY/FAVORITEボタンを押して、FAVORITEインジケータのLEDを点灯させます。

2 サウンド・エリアのKEYBOARD SET LIBRARYセクションで、いずれかのボタンを押します。各ボタンの上部には、カテゴリー名が印字されています。ボタンの下部には、お気に入りのキーボード・セットに対応する番号(1~11)が表示されています。



3 鍵盤で演奏しながら、他のキーボード・セットも試してみましょう。

演奏とコントロール

鍵盤を演奏する

本機の鍵盤はピアノの鍵盤と同じです。サウンドの中には弾いたときに鍵盤をさらに押し込むと、例えばビブラートがより深くなるなど、音色に変化が起きるものもあります。

ペダルを使う

ペダルは設定により機能が変化します。ダンパー・ペダルはペダルを踏んでいる間だけ演奏した音を長く伸ばすときに使用します。

CONTROLスライダーとボタンを使う

選択しているモードによって、CONTROLスライダーやボタンは、様々なサウンドの音量調節やオルガンのドローバーなど、機能を割り当てて使用できます。使い方はスライダー下のストリップ・ディスプレイに表示されます。

アサインブル・スイッチを使う

選択したキーボード・セットや割り当てられている機能によって、動作する機能が変化します。

マトリックスを使う

複数の機能(パッドのトリガー、コード・シーケンス、トラックの演奏/ミュートなど)をコントロールすることができます。このマトリックスを、機能のオン/オフ・スイッチに設定したときは、押すたびにオンとオフが切り替わります。

割り当てた機能や選択中のプレーヤーによって、ボタンの色が変わる場合があります。

ジョイスティックを使う

ジョイスティックを左右に動かすとサウンドのピッチが変化します。前方に倒すと通常はモジュレーションが加わりますが、実際の動作は選択したサウンドによって変化します。エレクトロ・メカニカル・オルガン・サウンドの場合は、ジョイスティックを前方に倒すとロータリー・スピーカー・エフェクトのスピードが切り替わります。ジョイスティックを手前に倒した場合の動作は、選択したサウンドによって変わります。色々なサウンドを楽しんでください。

リボン・コントローラーを使う

通常は、リボン・コントローラーを左右にスライドすると、サウンドのプリリانسやピッチが変化しますが、選択したサウンドによって動作は異なります。

仕様

Pa5X	機能
鍵盤	Pa5X-61: 61鍵(C2~C7)、セミウェイテッド鍵盤、アフタータッチ対応 Pa5X-76: 76鍵(E1~G7)、セミウェイテッド鍵盤、アフタータッチ対応 Pa5X-88: 88鍵(A0~C8)、ハンマーアクション、アフタータッチ対応
ディスプレイ	8インチワイド静電容量式タッチパネルTouchView™ カラーTFTディスプレイ、解像度800 x 480
音源	EDS-XP (エンハンスト・ディフィニション・シンセシス・エクパンデッド) レゾナンス付きマルチモード・フィルター、トラックごとに3バンドEQ
同時発音数	160ボイス、160オシレーター
エフェクト	キーボード・トラック: 3インサート・エフェクト、3マスター・エフェクト スタイル/ソング: 10インサート・エフェクト、3マスター・エフェクト ファイナル・マスタリング・エフェクト: Waves MaxxAudio® Suite

Pa5X	機能
マイク・プロセッサ	Shift Audioのマイク・プロセッサ・テクノロジー マイク設定:コンプレッサー、EQ、ゲート 4パート・ハーモナイザー、ダブラー、フィルター、Mod、ディレイ、リバーブ、オートピッチ
ギター・プロセッサ	ストンプボックスとアンプ・シミュレーションを備えたギター・ラック(4エフェクト・スロット)
サウンド/ドラムキット	ファクトリー:2,200以上のファクトリー・サウンド ユーザー・エリア:768サウンド、384ドラムキット
サンプリング	ユーザーPCMサンプル・メモリー:4GB(圧縮時:リニア換算で8GB相当)
キーボード・セット	ファクトリー:500以上のプリロード・キーボード・セット
プレーヤー	X-Faderバランス・コントロール付きXDSクロスフェード・デュアル・プレーヤー(特許取得済み) ソングおよび/またはスタイル間のクロスフェード
スタイル	ファクトリー:600以上のプリロード・スタイル 8スタイル・トラック、スタイルごとに4キーボード・セットと4パッド、プログラム可能なサウンド、エフェクト、スタイル・パラメーター スタイル・エレメント:3イントロ、4バリエーション、4フィル、1ブレイク、3エンディング
コード・シーケンサー	ファクトリー:200以上のコード・シーケンス
ソング	X-Faderバランス・コントロール付きXDSクロスフェード・デュアル・プレーヤー(特許取得済み) サポートしているフォーマット: MID、KAR、MP3+Lyrics、MP3+G(日本語歌詞非対応)
MP3プレーヤー/レコーダー	2基のMP3プレーヤーとMP3レコーダー MP3ファイル(スタイル、MIDIソング、MP3ソング、キーボード・サウンド、パッド、マトリックス、マイク、ギター、エフェクトを含む)を録音
SongBook	スタイル、MIDIソング(MIDおよびKARファイル)、アーティストおよびジャンル・タグ付きのMP3ソングに基づく、完全にプログラム可能な音楽データベース ユーザー定義可能なセット・リスト
互換性	従来のPaシリーズ・モデル:スタイル、キーボード・セット(パフォーマンス)、サウンド(プログラム)、ソング、パッド
パッド	ファクトリー:400以上のパッド
コントロール・インプット	ダンパー・ペダル:コルグDS-1Hペダル(別売)でハーフ・ペダルにも対応 2アサインابل・ペダル/フットスイッチ
オーディオ・インプット	マイク:モノ(ゲイン・コントロール)、ファンタム電源(コンボXLR平衡) ギター:モノ(ゲイン・コントロール)(6.3mmジャック、不平衡) ライン1:(左/右)(6.3mmジャック、不平衡) ライン2:ステレオ(3.5mmミニ・ジャック、不平衡)

Pa5X	機能
オーディオ・アウトプット	ライン:(メイン左/右)、セパレート・アウト1/2/3/4(6.3mmジャック、不平衡) ヘッドホン(6.3mmジャック)
ビデオ・アウトプット	HDMI端子
MIDI	IN、OUT、THRU標準MIDI端子
USB	タイプA(ホスト3.0、ストレージ・デバイスおよびコントローラー用):フロント×1、リア×2 タイプB(デバイス2.0、パソコンおよびタブレット用)、リア×1
ストレージ	内蔵メモリー:1GB microSDカード(市販):リア・パネルのスロット(プラスチック・カバー付き) USBフラッシュ・ドライブ(市販):USBホスト・ポートに接続可能なもの
消費電力	100~240 ボルト、50/60Hz <待機電力0.2W / 通常20W / PaAS使用時45W>
外形寸法(幅×奥行×高さ)(譜面台なし、ディスプレイ全下げ)	Pa5X-61:1,021.1 x 374.3 x 126.8 mm Pa5X-76:1,233.1 x 374.3 x 126.8 mm Pa5X-88:1,262.0 x 396.4 x 146.0 mm
質量	Pa5X-61:15.1 kg Pa5X-76:17.4 kg Pa5X-88:20.1 kg
付属品	AC電源コード、譜面立て、ご購入のお客様へ
アクセサリ(別売)	PaASアンプ・システム ST-SV1キーボード・スタンド EXP-2フット・コントローラー XVP-10ボリューム・ペダル XVP-20エクスペッション/ボリューム・ペダル DS-1Hダンパー・ペダル(ハーフ・ダンパー対応) PS-1ペダル・スイッチ PS-3ペダル・スイッチ VOX V860ボリューム・ペダル

*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



HDMIおよびHDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。